

一般質問



教員のメンタルヘルス
対策の推進について
村井 寿行

【質】 当市の教員における精神疾患による休職者の実態と、メンタルヘルス対策・復職に向けた対策は。

【答】 教職員の心的要因による休職者の実態は、平成21年度5名、22年度3名、23年度2名となっており、メンタルヘルス対策については、市教委として教職員にストレス対処法の冊子を配布。また、校長、教頭など管理職の果たす役割が重要となることから、管理職対象のセミナーへの参加促進を行い、道教委策定の職場復帰プログラムを実施している。



次年度以降に向けての
各方針を問う
杉尾 直樹

「市の将来ビジョン」に関し、財政・防災防犯・人口問題・行政改革の4項目について質問。

【質】 市内各事業の活性化への方針は。優先順位に従い早期かつ確実に行う。

【答】 交番減少に伴う行政の対策は。地域と協力し新犯罪も含め対応する。

【質】 移住対策の方針は。30日以上滞る観光やホームヘルスを整備する。

【答】 行政改革のうち人材活用や教育は。退職者活用や若手職員の幹部登用、外部講師による職員教育を行う。



保育所の
民営化について
米田 登美子

【質】 保育所の民営化に当たっての考え方や事前準備についてなど、現段階における状況を伺う。

【答】 「次世代育成支援推進協議会」を検討委員会と位置づけし、施設のある方は、少子化が進行した場合を考え、集約などを含めた検討も必要と考える。

これまでの保育の継承とさらなる充実を基本としているので、特別保育などは変わらないと考える。

補正予算審査

佐々木 久美子

【質】 プレミアム建設券発行事業で、プレミアム率を20%から10%に下げることにより、多くの事業所に仕事の機会を与えるという点で効果的なのでは。

【答】 現時点では20%とした方が、消費者にとってはインパクトがあると考ええる。

山田 新一

【質】 市内の経済状況を考えると、建設関連の補正予算は、平成23年度中に執行すべきと思うがどうか？

【答】 平成23年度中に発注・契約できるものは、繰越明許費として平成24年度に工事完了したいと考えている。

木村 俊子

最終処分場漏水検知システムが、平成23年4月から落雷により作動しておらず、今後いこう整備事業が実施され、検知システムが稼働するのかがたじ。平成24年6月ごろに稼働との回答に対し、1年以上も市民の安全を確保できない状況はあるべきではないと訴えた。

松山 哲男

公共事業など早期発注による切れ目のない経済対策に当たり、市債償還計画と対象事業の発注について資料請求し、①今後のハード面における公共事業の計画策定や公共事業枠の設定、②起債可能な限度額などをただし、新たな視点と手法による財政運営の必要性を訴えた。

村井 寿行

【質】 今回のプレミアム建設券発行に際し、参加事業者募集の目標設定について質問。
【答】 前回の参加事業者数が79事業者であったので、購入者の利便性を考えると、少なくとも前回を上回る事業者に参加していただけるよう取り組んでいく。

天神林 美彦

国の平成23年度第3次補正予算で措置された学校施設環境改善交付金を活用し、幌別小学校と西陵中学校の体育館の耐震化・改修事業費が追加されたが、学校施設の耐震化は、平成27年度末までの予定だが早期に完了させるといふ国の目標へ、現状と今後の計画を確認した。

成田 昭浩

【質】 プレミアム建設券発行事業について、前回の反省点や課題により、今回改善されたことは何か。

【答】 販売額の増額、利用期間の延長、参加料の廃止、手数料の減額などを変更した。また、参加企業への周知、説明会などの開催方法については、今後実行委員会で協議を進める。

辻 弘之

市内各学校の非常階段が老朽化したまま放置されていた問題に関して、青葉小学校での取替工事が提案された。

これまでに、鷲別中学校と登別中学校の屋外避難階段の整備・改修が行われており、青葉小学校の改善により、すべての学校での対策が終了することになる。

工藤 俱二雄

最終処分場漏水検知システム整備について、今回の質疑により事実関係や現状が明らかになった。また、漏水検知システムの復旧時期や今後の対応、情報提供のあり方について課題があることが判明した。

平成23年第4回臨時会

平成23年第4回臨時会が12月28日に開催され、「消防救急デジタル無線実施設計委託料」に関する一般会計補正予算について審議しました。

今回の補正予算が当市にとっていかに有利なものかを判断するため、比較できる資料を要求し、検証の結果、当市の負担が少なくなるのがわかり、原案のとおり可決しました。